

第5号

市自公連だより



筑紫野市自治公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市自公連事務局

■〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南1-9-3

■発行責任者 会長 中野 二郎

生涯学習センター内 ☎ 092-918-3535

【役員のことば】



筑紫野市自治公民館連絡協議会

研修担当副会長 高田 俊雄

(石崎公民館長)

まず、昨年度の市自公連の主要事業である「公民館とコミュニティ運営協議会の一体化」の取り組みについて報告させていただきます。

各地区的自公連では、公民館とコミュニティ運営協議会の一体化に向け連携強化に取り組んでいます。公民館の要職の方々を集めて「地区別視察研修会」等を開き、各公民館での課題等を持ち寄っていただき、解決に向けて議論してきました。研修で学んだ内容や人材が、公民館の場でも生かされ、活躍されることを願っています。

前号で事務局長の「役員のことば」の中にもありました、「自公連とコミュニティ運営協議会との一体化も未だ道半ばではあります。」今年度も「公民館とコミュニティ運営協議会の一体化」に向けて、努力、邁進する所存です。みなさまのご協力を頼ります。

しかしながら今年度になつて、新型コロナウイルス感染拡大の影響下で生活様式が一変し、公民館の3つの機能「集まる・学ぶ・つなぐ」が生かせない現状で、研修会や公民館事業（夏祭り・敬老会等）が実践しにくい状況であります。「自助・共助・公助・そして絆」の精神で市民一丸となつてこの危機を克服し、高齢化社会を生き抜き、「自公連とコミュニティ運営協議会との一体化へ」という目標に向かつて頑張りましょう。

コロナを乗り越えよう！

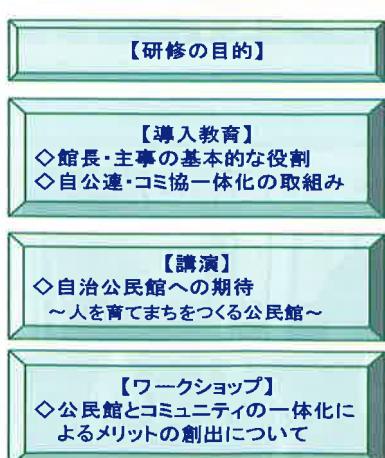


【研修内容】

- ①公民館長・主事の基本的な役割、コミュニティ運営協議会（コミ協）との一体化の取組み等する講演
- ②人材発掘・育成に関する講演
- ③館長・主事等としての課題、対策についての討議、意見交換
- ④討議結果発表、まとめ。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、役員・理事・コミ協関係者（21名）を対象にしたミニライブ研修を実施し、その様子をDVDに収録して配付する予定でしたが、実施できませんでした。

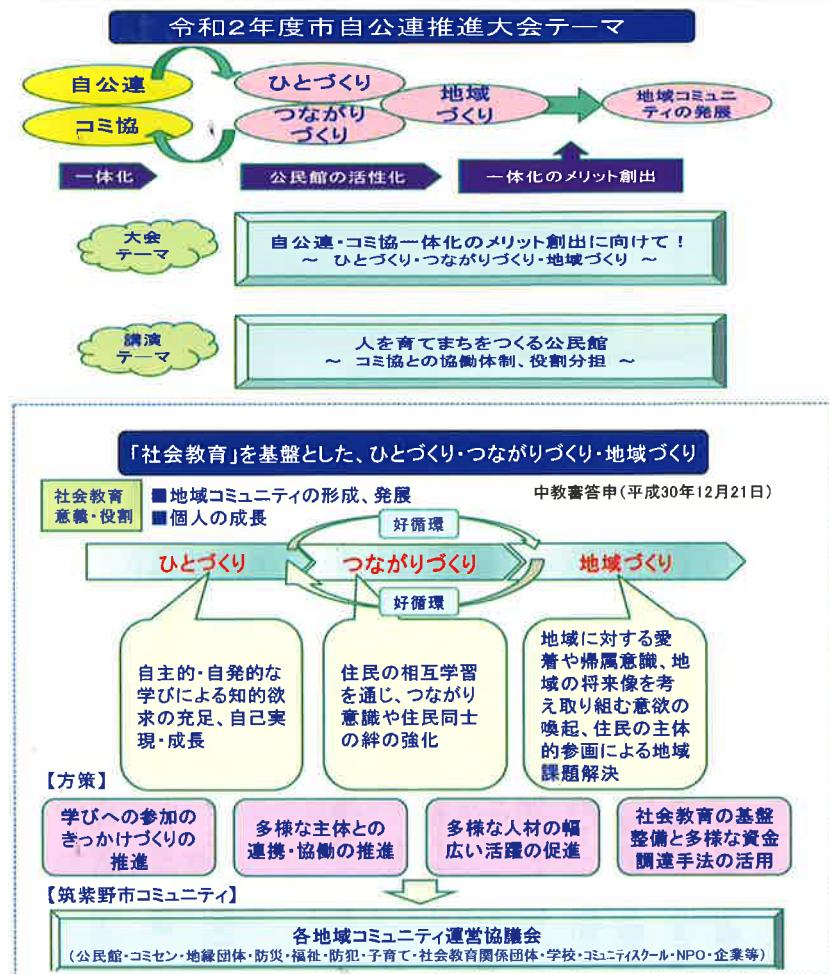
各公民館等に送付した研修資料一式をご確認いただき、今後の活動の参考にしていただければ幸いです。

令和2年度自治公民館館長・主事等研修会内容



令和2年度自治公民館館長・主事等研修会（紙上開催）

令和2年度 市自公連推進大会（紙上開催）



今年度の大会は新型コロナウイルス対応を考慮して、9月26日（土）に参加人数を百名程度に制限の上、展示や事例発表も中止して開会行事（大会宣言等）と講演のみで開催する予定でした。しかしながら新型コロナウイルスの感染拡大が加速される傾向になつたため、急遽、集合形式で実施することは中止して、紙上開催に変更いたしました。各自治公民館館長・主事、コミュニティ運営協議会（コミ協）会長・事務局、コミュニティセンター（コミセン）館長・主事の皆様には、当日配付予定の研修関連資料一式を送付させていただきました。関連資料一式をご確認いただき、今後の活動の参考にしていただければ幸いです。特に、大会冊子に掲載しております本大会の大会宣言の内容を共有し、今後の活動の起爆剤のひとつとして、日頃の活動に拍車をかけていただければと思います。

令和2年度 公民館主催講座紹介

6月 美しが丘北公民館

<初心者向け簡単スマホ教室>

【講座内容】

初心者向けにスマートフォンの使い方を教えています。大学生や高校生が講師となって基本的な操作「メール・写真・LINE」等、質問に丁寧に答えるわかりやすい講座です。今回は参加者6名ですが少人数だからこそ、充実した講座となっています。

【参加者の声・成果・課題・計画等について】

- 高齢者が主な参加者で、若い世代との交流が出来、使い方についてもわかりやすく身近に教えてくれて皆さんにとても喜ばれた。
- コロナ感染症拡大防止のため自治会活動も公民館活動もずっと出来ずにいて、6月初めに開始。受講者がほとんど高齢者なので感染対策等、考えなければならない事が多かった。
- 民生委員からも「高齢者がスマホを使えるようになり、連絡がとれるようになった。とても良い活動で感謝している。」との言葉を頂き今後も継続してゆくべき活動だと感じた。新規参加者も少しずつ増え、リピーターも多く、人との交流が難しいこの「ウィズコロナ」そして「超高齢化社会」の時代に、少人数制で長期にて定期開催できればと考えている。



感染対策もしっかりと講じています。



筑紫よかまち協議会は11行政区と「環境、安心安全、次世代育成、健康福祉、振興交流、自治公民館連絡」の6部会で構成し、「子どもたちに誇れるよかまちづくり」を目指して活動を行っています。



コミュニティ運営協議会活動(シリーズ5)

子供たちに誇れるよかまちづくり

筑紫よかまち協議会
会長 川上 弘道

さて、筑紫よかまち協議会(コミ協)との一体化について紹介します。旧筑紫地区小地区公民館連絡協議会と平成30年に合併し、自治公民館連絡部会として運営委員会に参画しています。

11行政区13公民館の自主性を保ち、他の部会とも情報を共有し、お互いに公民館の視察研修を重ね、地域に密着した活動を行っています。

また別に、筑紫コミュニティセンターと共に、公民館において出前講座を開いています。これは「まちづくりは地域から」の発想で、コミセン主催講座受講生も参加し、地域住民とのつながりを持つことが目的です。

コミュニティの推進に参画する人材の発掘につながることを期待しています。講座は、年5~6カ所で順次開催しており、寄せ植え、さげもん飾り、クリスマス・リース、グラスアートなどを楽しく作っています。受講生からの「こんな時間を作って頂いた」というお礼の言葉に、一同勇気づけられ、もっとより良い講座になるよう努力して参ります。



令和2年度 福岡県公民館大会(紙上開催・動画配信)



【VTR撮影】 ⇒ 【編集】 ⇒ 【配信】



【開催方法について】

VTRのインターネット配信及び
DVD等の送付、大会誌の作成



【大会テーマ】

「持続可能な地域づくりに向けて 公民館が進む道」

(サブテーマ)

～「多世代の関わり」や「学校や各種団体との連携・協働」などをどう具現化していくか～

※インターネット配信は10月30日で終了しています。



令和2年度 九州地区公民館研究大会(紙上開催)

【大会テーマ】

開かれ、つながる社会教育の実現を目指す～地域コミュニティの維持と防災拠点としての役割～

【分科会(第1~8)】

「地域づくりの拠点」「人づくりの拠点」「家庭や地域のつながりづくりの拠点」
「地域の防災拠点」「地域学校協働活動の拠点」「人権尊重のまちづくりの拠点」
「自治公民館活動」「公民館の新たな機能強化」



【開催方法】：紙上開催(大会冊子を作成し、関係者が内容について共有を図る。)

※両大会とも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため従来の参会する方法は中止。

※各大会冊子を自治公民館館長・主事、コミ協会長・事務局、コミセン館長・主事に配付しています。

公民館紹介

山口地区 むさしヶ丘公民館



その他主な活動として、いきいきサロン、シニアクラブや文化（水墨画、生花、舞踊）趣味（囲碁、将棋、麻雀、料理）スポーツ（卓球、健康体操）があり、年間約1万人の利用者数となっています。災害時には避難所として活用され、平日は事務員が常駐し、利用者のサービス向上に努めています。今後の課題は、30～50代の共働き世帯、現役世代の積極的な参画をすすめ、全ての住民が文化スポーツ・地域活動を楽しみ、健康・生き甲斐・仲間づくりと交流を深め、安全で安心して住める街づくりを協働して推進することです。

山口地区 むさしヶ丘公民館 館長 出田 章

むさしヶ丘は昭和47年に誕生し、今年で48年になります。現在945世帯、人口は2430人となり、市内有数の戸建て大型団地となりました。

平成18年に建て替えられた公民館の稼働率は高く、現在21のサークル活動をはじめ諸会議など、コミュニティ活動の拠点となっています。公民館で開催される敬老会や公民館まつりは、自治会役員やサークル・団体の代表などが実行委員として連携協力して実施しています。



公民館まつり:作品展・折り紙教室



公民館紹介

山家中央区公民館



山家中央区公民館は、平成6年山家コミュニティセンター建設後「旧筑紫野市山家出張所」と「山家老人いこいの家」の建物を中央区が筑紫野市と財産使用賃貸契約を締結し使っています。現在、山家中央区は、384世帯、人口904名で山家では一番世帯数も人口も多い区です。少子高齢化が進む中ですが、まだまだ子どもたちも多く活気にあふれています。

主な公民館活動としては、毎月の運営委員会、中央区シニアクラブ、いきいきサロン、農業関係者・各種団体の会合等を行っています。



山家宝満宮掃除

今年は、新型コロナウイルスの影響で十分な活動はできていませんが、コロナが収まった暁には「山家は一つ」の合言葉のもと中央区も一つになり、ワンチームで公民館活動を進めたいと思っています。



山家幼稚園との交流
子らの笑顔が宝物です

山家中央区公民館 館長：町田 松雄 主事：瀬戸口 章